



2025 年 11 月 11 日

各 位

会 社 名 テモナ株式会社
代表者名 代表取締役社長 本多 渉
(コード番号：3985 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 CFO 波多野 完治
(TEL. 03-6635-6452)

個別業績の前期実績値との差異及び法人税等調整額の計上に関するお知らせ

当社は、2025 年 9 月期（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）の個別業績につきまして、前期実績値との差異に関するお知らせ、並びに、2025 年 9 月期において法人税等調整額を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 個別業績と前期実績値との差異

(1) 2025 年 9 月期個別業績と前期実績値の差異（2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値 (A)	1,455	△42	△38	△381	△35.72
今回発表実績 (B)	1,411	123	125	85	7.99
増 減 額 (B－A)	△43	166	164	466	
増 減 率 (%)	△3.0	—	—	—	

(2) 差異の理由

売上高については、セールスマックスの変動はあったものの、概ね前期実績値と同水準となりました。利益面については、内製化促進による外注費削減や、業務効率化・人員の適正再配置等の推進により、全体としてコスト削減が進み、当期は黒字転換しました。結果として営業利益 123 百万円（前期実績は△42 百万円の営業損失）、経常利益 125 百万円（前期実績は△38 百万円の経常損失）となりました。また、前期は固定資産の減損等の特別損失等一過性のコストが多額にありましたが、当期は以下に記載の繰延税金資産の一部を取崩しによる法人税等調整額を計上のみにとどまったため、当期純利益は 85 百万円（前期実績は△381 百万円の当期純損失）となりました。

2. 法人税等調整額の計上

2026 年 9 月期の連結業績予想について、現時点で合理的に算定することが困難であることから未定としていることに鑑み、繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額 45 百万円を計上しました。

以上